

Q. 基準値の根拠は、なぜ、年間1ミリシーベルトなのですか？

A. ① 科学的知見に基づいた国際的な指標に沿っている

食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の現在の指標で、年間1ミリシーベルトを超えないように設定されていること

注) 国際放射線防護委員会 (ICRP) は、年間1ミリシーベルトより厳しい措置を講じても、有意な線量の低減は達成できないとしており、これに基づいてコーデックス委員会が指標を定めている。

② 合理的に達成可能な限り低く抑えるため

モニタリング検査の結果で、多くの食品からの検出濃度は、時間の経過とともに相当程度低下傾向にあること

厚生労働省「食品中の放射性物質の対策と現状について(概要)」より作成



基準値設定の根拠にある年間1ミリシーベルトという許容線量については、第一に、科学的な知見に基づいた国際的な指標に合わせたということです。食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の現在の指標で、年間1ミリシーベルトを超えないようにという規定が示されています。元をたどると、国際放射線防護委員会 (ICRP) が「年間1ミリシーベルトよりも厳しい措置を講じても、それ以上に有意な線量の低減は達成できない」という考え方を示しています。その勧告に基づいて、コーデックス委員会は指標を定めています。

第二に、「合理的に達成可能な限り低く抑える」という ALARA の法則 (As Low As Reasonably Achievable) に基づいています。無理をせず合理的に達成可能な限りというところがポイントです。実際にモニタリング検査をしたところ、多くの食品からの検出濃度が相当程度低下傾向にありましたので、一般食品中の放射性セシウム濃度の基準値を大幅に引き下げて 100 ベクレル /kg としても、日本人の食生活に不具合を来すことはないということもわかりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

関連 Q&A

- ・ 4章 QA4 介入線量レベルを年間1ミリシーベルトに設定した理由を教えてください
- ・ 4章 QA24 食品中の放射性物質の基準値は、どのように決められたのですか